

## 時間という資源 ～ Time is money (時は金なり) ～

世界には今なお、いろいろな差別や不平等がたくさんあります。また、人は生活様式や趣味、特技も異なっています。しかし、どんな人にも、大人でも子どもでも完全に平等なものがあります。

それは「一日24時間」という時間です。多い人も少ない人もいません。「時間という資源」は、万人に平等に与えられている価値のあるものといえます。

古人に学べば、「時は金なり」という格言があります。この格言は、ギリシャ起源の「時は高い出費である」に由来します。16世紀後期から英語圏に入って、「Time is precious」の形で用いられました。その後、アメリカの政治家ベンジャミン・フランクリン（18世紀）の文書により、「Time is money」として広められました。「時間は貴重であり有効なものであるから、無駄に費やしてはいけない。」という意味であり、時間の尊さを教えた格言です。万人に平等に与えられているはずの、この「時間という資源」も使い方によっては、その価値を失うこともあるかも知れません。何気なく生きていると、時間はいくらでもあるようにつつい錯覚しやすいのが私たち人間です。でも、誰でも知っているように命が有限である以上、時間も決して無限ではなく有限で貴重なものなのです。

故・日野原重明先生（医学博士）の有名な言葉です。

これから一番、大切なことを言います。命とは、人間がもっている時間のことです。人は、自分のために時間を使います。さらに、誰かのために時間を使ってください。